

5.2 目標達成のための施策及び事業

5.2.1 持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた利便性・効率性の向上

基本方針1：持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた利便性・効率性の向上

施策項目	公共交通ネットワークの維持・改善及び交通結節機能の強化
施策①	バス路線及び運行ダイヤ等の見直し
施策概要	<p>バス利用実態やアンケート調査等の分析によるニーズを踏まえ、市民の利便性とバス事業者の採算性のバランスを図り、持続可能なバス路線を形成するため、運行経路や運行ダイヤ等の見直しを行います。</p> <p><基本的な考え方></p> <p>(1) 駅を中心とした効率的なバス路線の維持</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活の移動は、札幌市との流動が多く、新札幌へのアクセスに路線バスが利用されています。 江別市内では、野幌駅や大麻駅、江別駅とその周辺へのアクセスに路線バスが利用されています。 まちづくりの中心であるとともに、通勤、通学、買い物、通院といった日常生活の移動において重要な役割を果たしている駅を中心とした現状のバス路線ネットワークについて、今後もその方針を継続し、持続可能な地域公共交通体系の維持を図ります。  <p>▲野幌駅前北口広場</p> <p>(2) 利用者の少ないバス路線の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> 江別市内を運行する路線バスについて、時間帯や曜日によって極端に利用者が減少する路線があります。 利用促進を図るとともに、利用者が少ない要因の分析を行い、運行の見直しを検討します。 <p>(3) 観光施設等へのアクセス改善や連携の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 市民アンケート結果では、路線バスを利用した観光施設への新たな需要やアクセス向上に関する意見が挙げられています。 バス路線の延伸やシャトルバスの運行等、アクセス向上に向けた検討を行うとともに、待合環境の整備など施設との連携を図り、公共交通を利用した観光促進を図ります。

	<p>(4) 利用者ニーズに対応した運行ダイヤ等の見直し</p> <p>▼需要に応じた運行の効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江別市内を運行する路線バスは、通勤や通学など日常的な利用が多くなっていますが、その反面、休日は利用者が大きく減少するバス路線も存在します。 ・また、利用が伸び悩んでいるバス路線も存在していることから、利用者ニーズにマッチした利便性や効率性が高い運行となるよう検討を行います。 <p>▼路線重複区間における運行間隔の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・江別市内は、3社の路線バス事業者が路線バスを運行しており市民生活を支えています。一部では、複数事業者や複数路線が重複し、運行時間帯に偏りがあるなど、利便性や効率性の面から改善可能な区間が存在しています。 ・運行事業者と適切に調整を図り、利便性と効率性の向上に向けた協議を行います。 <p>▼停留所間隔の見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> ・路線バスの利便性向上と運行効率化を図るため、平成30年にバス路線の再編を実施しました。 ・しかしながら、バス路線の集約を図った結果、一部の停留所が廃止になるなど、停留所へのアクセシビリティが低下してしまった地区や施設が存在しました。 ・今後、江別市内においても高齢化の進展に伴い、自宅や目的地から停留所までのアクセシビリティ向上が求められることから、運行事業者や地域住民の意見を踏まえ、停留所の新設や設置位置の見直し等の検討を行います。 <p>【想定事業スケジュール】</p> <p>2023年度：検討</p> <p>2024年度：検討（検討状況や協議の進捗に応じ、順次実施）</p>
実施主体	江別市、交通事業者、市民、民間 等

基本方針1：持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた利便性・効率性の向上

施策項目 公共交通ネットワークの維持・改善及び交通結節機能の強化

施策② 鉄道主要駅での乗り継ぎ改善と情報充実化

施策概要

日常生活の移動は、札幌市との流動が多く、新札幌へのアクセスに路線バスが利用されているほか、札幌市中心部へのアクセスには鉄道が利用されています。

一方で、路線バス利用において、バスから鉄道への乗り継ぎの満足度は低くなっており、通勤や帰宅時間帯において、路線バスとの乗り継ぎが合わないとの意見が寄せられました。

このため、市内の主要駅である、江別駅、野幌駅、大麻駅について、鉄道と路線バスとの乗り継ぎの利便性向上に向けた検討を行います。

また、主要な交通結節点となっている江別駅、野幌駅及び大麻駅について、路線バスの情報提供（統合時刻表の作成・掲出、バスマップの配架等）を実施し、鉄道利用者に対して停留所や行き先、運行時刻など、路線バスの情報をわかりやすく発信していきます。



▲大麻駅南口の路線バス案内



▲野幌駅のバスマップ及び時刻表の配架

【想定事業スケジュール】
 2023 年度：検討
 2024 年度：検討（検討状況や協議の進捗に応じ、順次実施）

実施主体 江別市、交通事業者 等

基本方針1：持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けた利便性・効率性の向上

施策項目 公共交通ネットワークの維持・改善及び交通結節機能の強化

施策③ 新技術や新たな交通モード等の導入に向けた研究

施策概要

江別市内では、鉄道、路線バス、タクシーやデマンド型交通など、様々な交通サービスが市民生活を支えています。それぞれにメリットやデメリットが存在しており、単独の交通サービスでは改善が困難な課題も存在しています。

日々、技術開発が進む交通・通信の分野において、江別市でも地域の交通課題の解決に向け、既存の公共交通を補完もしくは連携が図れるよう、新たな知見等を検証していきます。

＜基本的な考え方＞

(1) MaaS、AI オンデマンド交通等の新技術の導入に向けた研究

- 近年、複数の交通手段を一つの交通サービスとして提供する MaaS (Mobility as a Service) や AI を活用した効率的な配車を行う AI オンデマンド交通など、新たなモビリティサービスの活用に向けた取り組みが各地で行われています。
- 江別市においても、交通事業者と連携し、地域や交通の課題解決に向け、将来的な新たなモビリティサービスの導入に向けた研究を行っていきます。



▲MaaSとは
(国土交通省 HP より)

(2) 路線バス運行時間外のタクシー活用

- 江別市は、駅を中心とした現状のバス路線ネットワーク系の維持を図ることとしています。深夜0時頃まで運行している鉄道に対し、市内の路線バスは20時台で運行終了となる路線も存在しています。
- 市内のタクシー利用者は、コロナ禍により減少しており、地域公共交通維持の観点からも利用が望まれますが、日常的に利用することは経済面から困難となっています。
- 経営の厳しいタクシーを活用しつつ、路線バスの運行終了後の帰宅を支援する手段として、鉄道駅周辺から利用可能な交通手段について検討を行います。



▲シntaxン (八戸公共交通ポータルサイトより)

【想定事業スケジュール】

2023年度：研究 (国の動向等を踏まえ導入を検討)

実施主体 江別市、交通事業者、民間 等

5.2.2 誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり

基本方針2：誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり

施策項目	公共交通に関する基本情報の整理及び提供
施策①	バス路線マップ及び路線バス乗り方ガイドの更新及び発行
施策概要	<p>江別市では、1998（平成10）年から「江別市バス輸送システム検討懇談会」における協議に基づき「江別市内バス路線マップ」と「江別市内路線バス乗り方ガイド」を作成し、継続して更新・発行を行っています。</p> <p>今後もバス路線の見直し等、必要なタイミングで更新を行い、市役所を始めとした公共施設や路線バス営業所等で配布を行うとともに、江別市HPで公開します。</p> <div style="text-align: center;">  <p>▲江別市内バス路線マップ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>▲江別市内路線バス乗り方ガイド</p> </div> <p>【想定事業スケジュール】 2023年度：実施（継続）</p>
実施主体	江別市、交通事業者 等

基本方針2：誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり

施策項目 公共交通に関する基本情報の整理及び提供

施策② 広報紙や江別市HP等を活用した情報発信

江別市では、定期的に広報えべつを活用した情報発信を行っています。
 江別市ホームページでは、トップページに「江別市内の公共交通」のリンクを設置し、「江別市内バス路線マップ」や「江別市内路線バス乗り方ガイド」のデータを提供しているほか、路線バス事業者の時刻表を掲載しています。
 また、路線バス事業者と鉄道事業者の各社が提供している運行情報サイトを掲載しており、江別市内の公共交通のポータルサイトとして情報発信を行っています。
 今後も引き続き、公共交通の利用に向けた市民への周知を図っていきます。



2022.12 広報えべつ 8

▲広報えべつ（令和4年12月号）

▲江別市ホームページ
（江別市内の公共交通）

【想定事業スケジュール】
 2023年度：実施（継続）

実施主体 江別市、交通事業者 等

基本方針2：誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり


施策項目	関係機関等と連携した公共交通利用環境の改善
施策①	雪害時の除排雪に向けた連携体制の強化
施策概要	<p>令和3年度の大雪による雪害では、札幌圏において、公共交通機関に大規模な運休や遅れが発生しました。江別市内でも、鉄道や路線バスにおいて、全面運休や大幅な遅延が発生するなど、市民生活に大きな影響が出ました。</p> <p>降雪時における公共交通の安定的な運行の確保に向け、関係機関との連携体制の強化を図ります。</p> <p>(1) 優先除排雪の実施に向けた協議</p> <ul style="list-style-type: none"> 公共交通への影響を軽減するため、過去の実績等から狭隘となりやすいポイントを分析するなど、バス路線の優先除排雪の実施について、関係者間で連携して検討していきます。 <p>(2) 雪害時の事前迂回路の設定</p> <ul style="list-style-type: none"> 中央バスの江別新さっぽろ線や野幌見晴台線が運行している見晴台や新栄台方面は、幅員狭小により、冬期間、大型車の通行が困難な区間が存在し運休や運行経路変更の要因になっています。 (1)において、バス路線の優先除排雪を検討していきますが、1便でも多く路線バスを運行し、1人でも多くの利用者を運ぶため、大雪時に路線バスの運行が困難になる区間については、事前に迂回路を設定するなど、路線バスの運行確保に向け検討を行います。 <p>(3) 地域と連携した停留所の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> 江別市内には、民間と協力して設置し、維持管理が行われている路線バスの待合所が10か所あり、まちのランドマークとして親しまれています。 通常、路線バスの停留所は、交通事業者が管理しており、時刻表の管理や清掃、除雪等の維持管理を行っていますが、特に雪害時は、市内全域の停留所で除排雪を実施することは困難となります。 バス路線沿線の施設や近隣住民との協働による、持続可能な停留所の維持管理の方策について研究していきます。 <div data-bbox="1002 1473 1414 1765" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1002 1769 1414 1832" data-label="Caption"> <p>▲酪農学園前バス待合所 (管理者：学校法人酪農学園大学)</p> </div> <p>【想定事業スケジュール】 2023年度：検討 2024年度：検討（検討状況や協議の進捗に応じ、順次実施）</p>
実施主体	江別市、交通事業者、道路管理者、市民、自治会、民間 等

基本方針 2：誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり

<p>施策項目</p>	<p>関係機関等と連携した公共交通利用環境の改善</p>
<p>施策②</p>	<p>江別市 HP や LINE 等を活用した運休情報の発信</p>
<p>施策概要</p>	<p>路線バスの運休情報は、交通事業者による情報発信がメインでしたが、大雪時の市民への情報発信を強化するため、江別市による情報提供の方法について検討を進め、江別市ホームページのトップページへの路線バスの運休情報の掲載に加え、LINE等のSNSを活用し、プッシュ型の情報発信により市民への速やかな情報提供に努めます。</p> <div data-bbox="1050 392 1396 1120" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> </div> <p style="text-align: right;">▲江別市 LINE</p> <p>【想定事業スケジュール】 2023 年度：調整・協議・実施</p>
<p>実施主体</p>	<p>江別市、交通事業者 等</p>

基本方針 2：誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり

施策項目	関係機関等と連携した公共交通利用環境の改善
施策③	新たな待合所やバスロケーションシステムを活用した情報設備等の研究
施策概要	<p>令和 3 年度の大雪による雪害では、鉄道や路線バスにおいて、大幅な遅延が発生し、市民生活に大きな影響が出ました。</p> <p>路線バスは、駅舎のある鉄道とは異なり、上屋のある待合所が少ないため、特に冬期は、風雪や気温低下の影響により、身体的な負担が大きくなります。</p> <p>加えて江別市内では、高齢化が進行しており、運転免許証返納後の交通手段として路線バスへの期待が高くなっていることから、高齢者や障がい者など、身体の不自由な方にも配慮した、利便性の高い待合環境の整備に向けた取り組みを研究します。</p> <p>待合環境の整備にあたっては、維持管理コストが交通事業者による待合所整備の課題となっていることから、待合所の新設だけでなく、バス停留所付近のコンビニ等の民間商業施設や行政機関の庁舎等を待合所として活用すること等も研究します。</p> <p>近隣の施設での待合を行う際は、バスの運行状況をリアルタイムに確認することができるバスロケーションシステムを積極的に活用することを想定します。</p> <p>【想定事業スケジュール】 2023 年度：調整・実施</p>
実施主体	江別市、交通事業者、道路管理者、民間 等

基本方針2：誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり	
施策項目	関係機関等と連携した公共交通利用環境の改善
施策④	交通不便地域等における交通手段の検討
施策概要	<p>市街化区域は、鉄道事業者と3社の路線バス事業者により、網羅的に公共交通網が整備されています。</p> <p>一方、郊外部においては、令和4年度から江北地区と豊幌地区でデマンド型交通が正式運行を開始しましたが、その他の地区では、路線バスの停留所へのアクセスが困難な交通不便地域が存在しています。</p> <p>江北地区と豊幌地区のデマンド型交通の知見を活用しつつ、既存の交通サービスを活用するなど、交通不便地域の解消に向けた持続可能な地域交通の確保に向けた検討を行います。</p> <div style="text-align: right;">  <p>▲江北地区デマンド型交通</p> </div> <p>【想定事業スケジュール】 2023年度：検討 2024年度：検討（検討状況や協議の進捗に応じ、順次実施）</p>
実施主体	江別市、交通事業者、民間、地域団体 等

基本方針2：誰もが安心・便利に利用できる公共交通の環境づくり	
施策項目	関係機関等と連携した公共交通利用環境の改善
施策⑤	高齢者等の移動支援に係る検討
施策概要	<p>今後、高齢化の進行等により、自家用車を利用することができない市民の増加が予想されます。</p> <p>このため、公共交通の利用促進に繋がられるような高齢者の移動や外出を支援する制度の導入可能性について検討します。</p> <p>また、誰にでも利用しやすい公共交通を目指すため、車両更新などの機会に合わせ、低床型車両やユニバーサルデザイン車両の導入に向けた支援を行います。</p> <p>【想定事業スケジュール】 2023年度：検討 2024年度：検討（検討状況や協議の進捗に応じ、順次実施）</p>
実施主体	江別市、交通事業者 等

5.2.3 公共交通を支える市民意識の醸成

基本方針3：公共交通を支える市民意識の醸成

施策項目	モビリティ・マネジメントの推進
施策①	出前講座の開催やイベント等での利用促進
施策概要	<p>江別市では、市民の要望に応じて職員が直接訪問し、市政に関するいろいろな事業や業務、手続きなどをわかりやすくお話しする出前講座を行っています。</p> <p>公共交通を今後も持続させていくためには、市民の公共交通に対する理解が不可欠であるため、市民の希望に合わせた出前講座等を実施します。</p> <p>【想定事業スケジュール】 2023年度：実施（継続）</p>
実施主体	江別市、交通事業者 等

4：くらし・防災		担当課		備考欄
No.	講座名	電話番号	FAX	
1	水害時の避難行動について	河川増水時の避難行動について学びます ①防災あんしんマップ（ハザードマップ）の使い方 ②防災情報の入手方法 【江別市版】河川増水時のタイムラインに基づいたマイ・タイムラインの作成	危機対策・防災担当	381-1407 381-1070
2	避難行動要支援者避難支援制度について	大規模災害が起こった際に手助けを必要とする人への支援制度について説明します	危機対策・防災担当	381-1407 381-1070
3	防災・減災のはなし	防災・減災についての講話を行います ①地震や水害等の災害について知識を深める ②災害時に被害を軽減する方法について考える（避難方法など） ③災害への備えについて考える（備蓄や心構えなど） ※非常食の試食も可 上記以外の内容についても相談に応じます	危機対策・防災担当	381-1407 381-1070 消防団員等の他部署が対応する場合があります
4	避難所運営訓練等	避難所の運営方法、災害発生時の対応方法について学びます ①避難所受入訓練 ②ダンボール組仕切りの作成訓練 ③仮設出し訓練 ④災害向上訓練（DIG）や避難所運営ゲーム（HUG） ※非常食の試食も可 上記以外の内容についても相談に応じます	危機対策・防災担当	381-1407 381-1070 ・土日祝開催については要 相談 ・消防団員等の他部署が対応する場合があります
5	バス交通について	バス交通の現状や利用の仕方などについてお話しします	政策推進課 （公共交通担当）	381-1209 381-1071
6	交通安全教室 ～事故の未然防止のために～	交通安全指導員が各種教材を使って事故を未然に防ぐ意識啓発を行います	市民生活課 （交通防犯担当）	381-1093 381-1070
7	暮らしに役立つ戸籍のはなし	生活に役立つ戸籍制度、届出の仕方、証明の請求等についてお話しします	戸籍住民課	381-1020 380-2241

▲令和4年度出前講座メニュー表

基本方針3：公共交通を支える市民意識の醸成

施策項目	モビリティ・マネジメントの推進
施策②	転入者へのバス路線等の周知
施策概要	<p>転入者は、江別市における日常の移動方法がまだ習慣づけられていない場合が多く、利用促進活動の対象として効果的であると考えられます。</p> <p>転入手続きの際、「江別市バス路線マップ」や「江別市路線バス乗り方ガイド」等の公共交通に関する情報提供を行うことで、公共交通の利用促進を図ります。</p> <p>【想定事業スケジュール】 2023年度：実施（継続）</p>
実施主体	江別市、交通事業者 等

基本方針3：公共交通を支える市民意識の醸成

<p>施策項目</p>	<p>モビリティ・マネジメントの推進</p>
<p>施策③</p>	<p>広報紙等による啓発</p>
<p>施策概要</p>	<p>市内全戸に配布する広報紙を活用し、市民向けに公共交通の利用促進を行います。</p> <p>【掲載内容（例）】</p> <ul style="list-style-type: none"> • 路線バスの利用方法 • 交通事業者が実施しているサービス • 感染症対策 • 新たな取り組み 等 <p>【想定事業スケジュール】</p> <p>2023年度：実施（継続）</p>
<p>実施主体</p>	<p>江別市、交通事業者 等</p>



▲広報えべつ（令和3年12月号）

5.2.4 公共交通を支える仕組みづくり

基本方針4：公共交通を支える仕組みづくり	
施策項目	補助制度や支援制度の検証
施策①	現行の補助制度の適時見直し
施策概要	<p>江別市内のバス路線を適切に維持するため、路線バス事業者を対象とする市の既存補助制度について、随時、見直しを行います。</p> <p>【想定事業スケジュール】 2023年度：実施（継続） ※国の補助制度や社会動向等に応じて検討</p>
実施主体	江別市、交通事業者 等

基本方針4：公共交通を支える仕組みづくり	
施策項目	補助制度や支援制度の検証
施策②	新技術や新たな交通モード等の導入への対応
施策概要	<p>「新技術や新たな交通モード等の導入に向けた研究」に記載した新たなモビリティサービスの導入と連動して、交通事業者や関係機関に対する新たな支援制度を検討します。</p> <p>【想定事業スケジュール】 2023年度：検討（国の補助制度や新たなモビリティサービスの導入等の施策実施状況に応じて検討</p>
実施主体	江別市、交通事業者 等

基本方針4：公共交通を支える仕組みづくり	
施策項目	補助制度や支援制度の検証
施策③	乗務員確保策の検討
施策概要	<p>少子高齢化に伴う生産年齢人口の減少や乗務員の高齢化、コロナ禍による利用者減少等の影響により、路線バスやタクシー事業者では乗務員不足が深刻化しています。</p> <p>社会インフラの一部である公共交通を支えるため、乗務員不足の解決に向けた方策を交通事業者とともに検討します。</p> <p>【想定事業スケジュール】 2023年度：検討 2024年度：検討（検討状況や協議の進捗に応じ、順次実施）</p>
実施主体	江別市、交通事業者、北海道、民間 等